

倶知安町景観計画・緑の基本計画検討会議

第2回 市街地景観検討部会 議事概要

◎日時	令和2年10月20日(火) 午前10時00分～午後0時00分
◎場所	倶知安町 体育館2F研修室
◎出席者	部会：辻井部会長、峠ヶ委員、佐藤委員、金塚委員、本田委員、斎藤委員 ※ 欠席（吉田委員、山田委員） 傍聴者：1名 事務局：まちづくり新幹線課 遠藤景観室長、星加景観係長、八田主事 清水参事 コンサルタント会社：(株)KITABA 百瀬、松田

1. 開会

2. 情報提供

○北海道新幹線倶知安駅新駅周辺整備計画について

- ・駅周辺の景観形成・土地利用について、前回部会で提出した「参考資料」により、駅前通りのコンセプトや今年3月に策定した「新駅周辺整備計画」の内容を説明
- ・追加配布資料（委員のみに提供し、非公表）により、新幹線駅整備に係る検討状況について説明

○駅前景観づくりに関する他都市の計画等事例について

- ・配布資料により説明

3. 意見交換

駅舎・駅前広場からの街並み景観について

～ 国際リゾート地の玄関口にふさわしい駅と街並みの実現に向けて ～

(斎藤委員)

- ・別紙資料に駅前広場の整備パターンが3つ示されているが、これは何を示しているのか。

(星加係長)

- ・今年の3月に作成した新駅整備計画で示したイメージ図である。考えられる駅前広場の形を提示している。
- ・追加配布資料は、それを現時点でより具体的に示した資料である。
- ・駅周辺の景観を議論するためにも、必要な資料として提示させていただくが、具体的なレイアウトに関する議論は「第2回北海道新幹線駅舎デザインコンセプト検討委員会」でお願いいただきたい。

(辻井座長)

- ・整備パターンにある「交流スペース」は駅前広場とは違うものか。詳細な資料では一体となっている。

(清水参事)

- ・駅前広場はバスやタクシーなどの動線や乗降する「交通施設」の範囲であり、交流スペースは溜まりの場所である。一体的な広場と考えており、建物を置くというよりも、スペースを設けるという考え方である。

(辻井座長)

- ・広場をどこに置くのかというのは羊蹄山への眺望に係る大きな問題であると捉えている。

(本田委員)

- ・駅の東側（駅前通り側）と西側（旭ヶ丘公園側）の利用者はどのくらいで考えているのか。
- ・改札口から出てきて東側を利用する人はほとんど町民ではないか。その場合はたまり場空間には都市施設ができるのであれば、その位置によって機能が変わってくるのではないか。
- ・すべて東側から出入りするのであれば違ってくるが、どのように考えているのか。

(星加係長)

- ・駅施設は鉄道運輸機構で整備するため、最低限の設備として出入口は一つだけであり、町としては東側を要望している。
- ・高架下を自由通路にして、西側にアクセスできるように検討している。

(佐藤委員)

- ・自由通路は寒い場所となるのか。

(清水参事)

- ・冬場は雪などが積もらない構造にしたいと思っている。駅と合築した都市施設としたい。

(辻井座長)

- ・都市施設とは何をイメージしているのか。

(清水参事)

- ・観光案内所や飲食店、ロッカーなどを想定している。

(佐藤委員)

- ・3月にできた「新駅周辺整備計画」で概ね検討されたと思うが、西側の駐車場を自由通路の近く（南側）に配置しているのは、北側に何かあるかもしれないということから寄せているのか。
- ・自由通路からまっすぐな空間にして、そのままパークゴルフ場に行くような橋があるとよいと思ったが、駐車場で塞ぐような形にしているのはなぜか。

(清水参事)

- ・自由通路からまっすぐ西（倶登山川）に向かって通路として空間を確保できると良いが、そのために駐車場を北側に寄せたくても、JRの敷地があるため、JRの敷地に影響しないような配置としている。

(佐藤委員)

- ・青年会議所が桜の木を植えていたので、それを残せないのか。

(清水参事)

- ・具体的なレイアウトは今後詰めていきたいので、そこで検討したい。

(辻井座長)

- ・市街地景観検討部会なので、山への眺望や賑わいを考えたときに新幹線の検討委員会と議論が被ることはやむを得ない。
- ・前回の参考資料では駅前に高い建物が建った場合のさまざまなシミュレーションがされているが、いずれにせよ今の用途地域の状況などから羊蹄山が見えなくなってしまう。重要な場所からの羊蹄山への眺望は確保していきたいという考えは部会で共有されたと思うがいかがか。

(佐藤委員)

- ・倶知安町は田園都市であり、人口も今後大幅に増えることはないだろう。人口規模から考えても、平成的な大規模な高層の商業施設の立地などは適さない。
- ・町としては駅前通りをきれいにしようというような予算もないと想定される。土地を持っている人たちが主に開発することになると思うが、駅前通りの左右の一定の幅は高さ制限するべきと思う。

(辻井座長)

- ・現在の幅員を生かして、人間的な尺度でつくっていくことと、その中で高さを抑えるということが大切である。
- ・「羊蹄山への眺望を遮る要素を防ぐ」というような考え方で良いか。

(金塚委員)

- ・高さ制限は必要かと思う。自分自身も実家の隣に大きいホテルが建っており、衝撃が大きかった。まちの発展のためには仕方ないと思いつつ、残念な思いもあった。ある程度の高さ制限が必要と思う。
- ・スターバックスなどは平屋でもきれいに作られている。そのような事例を増やしていけばよい。

(峠ヶ委員)

- ・お店や住居を考えると高さ制限があつたらいいと思うが、どこから羊蹄山を見るのかということが大切であると思う。
- ・例えば観光客が記念写真を撮るときを考えたときに、駅前のどこからきれいに撮るかというような基準を設けると、それに伴って高さも考えられるのではないか。
- ・バラバラな基準で考えると家の前に高い建物が建てられるのは嫌だと思うだろう。

(辻井座長)

- ・大事な視点場がどこなのかを明確にする必要がある。

(本田委員)

- ・駅前の石蔵倉庫が今後活用されていけば、農業と羊蹄山の景観が調和する。

(斎藤委員)

- ・たまり場が羊蹄山側にあること（パターン1）が正解なのではないか。

(峠ヶ委員)

- ・今ある高い建物は仕方ないので、駅舎の展望台のような場所から見える眺望を守るとよいのではないか。

(斎藤委員)

- ・シミュレーションにあるような大きな商業施設は建てられないと思う。建つとしてもホテルになるのではないか。

- ・一律でルールをかけることは難しいと思うので、ゾーニングと役割分担をどうするのが問題である。「石蔵倉庫から北側は高い建物は認めない」というような考え方を示しても良いのではないかな。

(本田委員)

- ・長野県白馬村を視察に行ったときに、そこに植えられている木を超えては行けないというルールがあった。自然景観を害さない高さという点では良い基準かと思う。

(辻井座長)

- ・駅前通りに面する側において眺望を害さない高さを基準とする必要がある。
- ・現在の建物は概ね10m程度の高さであるが、セットバックすれば高層でも可能とするようなルールも可能である。
- ・倶知安町の市街地においては人間的尺度（ヒューマンスケール）が必要であり、その感覚の上で羊蹄山への眺望の配慮を考えると良い。
- ・高さというよりは眺望や人間的尺度への配慮を考えるようなやり方もあるかと思う。

(峠ヶ委員)

- ・広告物の高さも考える必要がある。

(辻井座長)

- ・サイズや色の検討もあるが、取り付け方についても配慮が必要であり、大事なポイントである。

(本田委員)

- ・先日、札幌に行ったが、色彩に配慮されたセイコーマートの建物があった。店としては目立たないというデメリットがあると思うが、このような景観配慮があってもよいと思った。

(斎藤委員)

- ・オーナー側が景観を維持するための取組を提案し、コンビニ側もそれを受け入れるようになってきた。その方が売り上げがあがることもある。

(辻井座長)

- ・企業のコーポレートカラーを配慮してもらうような意識も広まっている。

(斎藤委員)

- ・他都市の事例で「規制」「誘導」とあるが、高さを制限する、壁面線を制限するというようなものは必要と思うが、やり方が難しいと思う。法律で決める「規制」を行うこともあれば「誘導」というようなやり方もある。具体的なやり方を知りたい。「誘導」というからには強制ではないのだと思うし、制限することによりインセンティブもあるのではないかなと思う。そのようなやり方を知りたい。

(辻井座長)

- ・セットバックしてくれたら高さを上げて良いというルールや緑化したら緑化費用の1/2の助成があるなどもある。それらのインセンティブは誘導につながる。

(本田委員)

- ・制限というと、押さえつけられるような印象であるので、「促す」「ルールをつくる」というような言い方がよい。
- ・そもそも何を指すためのルールなのかを共有したうえで、ルールを決めていくことが大切である。

- ・町内会など取組の実践者は多くいるが、担い手が減っている。共感者を増やすことも必要である。

(佐藤委員)

- ・「駅前通景観協議会」のようなものをつくり、ある程度の規模のものを建てようとする場合は協議会で事前説明をしながら、合意を取りつつ建設を進められるような仕組みはできないのか。
- ・法律などで、がちがちに規制するのはいけないと思う。ひらふ地区では準都市計画で色彩を決めたが、日本人が嫌だと思える色や海外からみた日本的な色がかけ離れており、自分たちが考えた街並みに違和感を覚えるようになった。「誘導」という考え方は重要であると思う。

(辻井座長)

- ・「誘導」という考え方をいろんな形で示していきたい。良い事例を町内につくるということもよい方法と思う。

(本田委員)

- ・ひらふは景観形成を先行的に行っているが、地区によって開発の度合いが異なり、ニセコのイメージで来ると違和感を覚える地区もある。例えばセンタービレッジ地区では海外的な高級なコンドミニアムが立ち並んでいるのに比べ、その近くのペンションビレッジ地区はそうでないという差が大きく見えるところもある。

(辻井委員)

- ・駅前広場のレイアウトに寄りけりであると思うが、西3丁目通りの歩道幅員を広げるようなイメージはあるか。
- ・石蔵倉庫の並びの街並みが大切であると思う。駅前通りの拡幅は難しそうであるので、片側でも良いので考えられないのか。

(星加係長)

- ・西3丁目の道路は街並みにおいて重要であるということは理解しており、町の都市計画マスタープランで都市計画道路の位置づけて拡幅することを想定しているが、並行在来線の動向次第なので、まだ決められない状況である。
- ・この道路は古くは都市計画道路として整備する計画だったが、南1線こ線橋のために道道とタッチできなくなって、一本東側の町道に都市計画道路を移した経緯もある。

(斎藤委員)

- ・高架橋（南1線こ線橋）は無くなるのか。

(星加係長)

- ・新幹線によって高架橋（南1線こ線橋）が無くなり、残る在来線のために一時的に仮踏切を設置することになっている。
- ・在来線が残ることになれば、踏切は認められないので、新幹線の高架に耐えられるようなこ線橋かアンダーパスが別途必要になる。在来線が廃止になると、仮踏切がなくなる。
- ・事務局としては、駅前の左右の軸が気になっている。加えて町民アンケートによると「開放感」「自然を感じる」「みどりがある」という意見が出ている。それらをどのように実現していくかが課題である。こういった意見を左右の軸に反映できればと思うが。

(辻井座長)

・落ち葉や日陰の問題もあり管理も難しいと思うが、現在も商店街で街路樹はある。

(金塚委員)

- ・みどりが無い景色をイメージするとガランとした印象になる。みどりは必要と思う。
- ・倶知安町の写真スポットがないことが問題と思う。みどりのある一本道にたたずむだけでもスポットになると思う。
- ・稚内の駅に行ったことがあるが、最北端の線路がフォトスポットになっていた。
- ・例えば駅前に「羊蹄山を登頂した」という記念になるようなものなどがあっても良いのではないか。
- ・「#倶知安」でインスタグラムを見ているが、街中の写真は見ない。
- ・ひらふ第一駐車場の上にある「スカイニセコ」にあるオブジェを見たが、それは羊蹄山を背景にした写真だった。新幹線の屋上などにそのような場所があるとよい。

(辻井座長)

- ・富山や横浜でもそのようなフォトスポットが用意されている。周りの風景と一緒に撮影できる場所があるとよい。

(斎藤委員)

- ・駅舎の中にそのような場所があるとよい。都市施設の中になるのか、たまり場のところにあると良い。

(佐藤委員)

- ・都市施設が高架の下に入るという考えでは、都市施設の屋上を緑化し、そこから羊蹄山が見えたり、みどりで「くっちゃん」と書かれた文字が見えたりするとよいのではないか。

(金塚委員)

- ・駅前通りに「くっちゃん」のアルファベットごとに各スポットがあり、スタンプラリーのようにめぐると良い。撮影の角度によりきれいに撮れる場所があるなども面白い。

(本田委員)

- ・駅前通りは街路樹も鮮やかなみどりでないので、あまりきれいに見えない。
- ・日向市の事例を見ると、駅前広場のイメージがそのまま商店街まで続いているように見える。そのようにルールをつくっていけると良い。芝生が峠委員が建てた「Camp&Go」までつながっていたら良い景観となる。

(佐藤委員)

- ・歩行者天国にして賑わいをつくると考えていた時に、歩行者天国の真ん中に緑地を用意し、両サイドを歩く形を想定していた。除雪の雪も真ん中に置く考えもあった。

(峠ヶ委員)

- ・左右の軸を考えると、駅前通りは車が往来する幹のようなイメージであり、左右の軸は枝のようなもので、みどりが植わっている通りがあったりと枝の特徴があるとよいのではないか。片側は歩行者天国で片側にみどりが植わっているなどの違いがあると良い。

(星加係長)

- ・参考資料として「駅から見た左右軸と駅前通りイメージ」を見ていただきたいが、緑化しているものとしていないもの、設え方の違いで比較している。

(本田委員)

- ・実際の倶知安の駅前の写真を加工して電柱をなくすなどのイメージ写真を作ってもら

ことは可能なのか。

- ・全体のイメージを実写であるとよい。

(佐藤委員)

- ・この写真のセットバックした後ろに高めの建物があるようなイメージを見たい。
- ・緑化することによって屋外看板が目立たなくなるということはメリットである。幹の部分の下の方にだけ小さな看板やメニュー表が見えるようなものもよい。

(辻井座長)

- ・機能の議論は新幹線にお任せするが、景観的なリクエストは出しても良いのか。
- ・北側に広場を取ると、シェルターで駅から出たときに羊蹄山への眺望は遮られてしまう。南側に空間を取ると、交番がある。都市施設に交番を埋め込むことは可能であると思うが、車両の置き場が問題である。

(佐藤委員)

- ・札幌駅前のような交番が良いのではないか。

(辻井座長)

- ・みどりの配置は入っていないが、検討する必要がある。
- ・稚内駅は北防波堤ドームが見える景観づくりを行っているが、視界を遮る高さの植栽を置かないというような配慮事項があったらいいと思う。

(斎藤委員)

- ・羊蹄山の眺望は規制できないかと思っている。できるだけ建てないようにしたい。

(辻井座長)

- ・駅前広場の東西の面している部分のデザインも必要である。生協やパチンコ屋に面しているもの。

(星加係長)

- ・「新駅周辺整備計画」では用途地域の見直しも位置づけており、駅前広場の南北には新たに近隣商業地域として高容積を許容する変更を考えているが、駅舎からは直接視界に入っていない位置となるので、高さが仮にあっても駅から降り立ったときの圧迫感など、景観に対する大きな影響は無いように感じている。
- ・左右の軸の部分でも、駅前広場との機能の連携を重視するとある程度の密度の高い建物が求められる。それらについては設え方などで抑制をかけていくことも考えられる。

(辻井座長)

- ・次回は駅前通りの景観や国道5号や駅前通りから駅舎を望む景色、駅西側の景観などについて議論したいと思うが、今のうちに意見を出しておきたい方がいれば発言願いたい。

(星加係長)

- ・国道5号からは離れているので、駅舎の存在感は少ないが、駅前通りを歩いて駅舎に近づくにつれ見え方が変化する。何らかの配慮が必要かと思う。

(本田委員)

- ・色やみどりの配置によって景観が調和されたり、隠せたりする。みどりの配置の仕方が重要であると思う。

(佐藤委員)

- ・駅の裏側には転車台があるが、倶知安の人間は重要視していない。文化的に重要なものなのにいいのだろうかと思う。転車台を生かしたものにしたい。

- ・裏の眺望を写真に撮りたいと思ったときには、転車台もよいスポットになるのではない
か。

(本田委員)

- ・スポットごとに考えていくのではなく、全体として目指すものを共有しながら詳細を詰
めていくような考え方がよい。
- ・必要な施設や上物を考えたうえで、土地のオーナーとの交渉もあり、進めていく必要が
ある。
- ・駅裏に JR はホテルなどを建てることを想定しているのか。

(星加係長)

- ・並行在来線の存廃の状況などもあり、JR の動向はわからない。

(佐藤委員)

- ・駅裏（西側）の道路を都市計画道路にすることはできないのか。

(星加係長)

- ・現在は公園内の通路として車両交通を確保しており、道路という位置づけになっていな
が、都市計画道路にすることも想定している。

4. その他

特になし

5. 閉会